

令和4年第5回加須市教育委員会定例会会議録

招集の日時	令和4年5月30日	午後1時30分
招集の場所	全員協議会室	
開会の日時	令和4年5月30日	午後1時30分
閉会の日時	令和4年5月30日	午後4時10分
出席者の氏名	小野田誠教育長、福田孝夫教育長職務代理者、遠藤康江委員、猪股富美子委員、秋山哲也委員、山本俊一委員	
欠席者の氏名		
会議に出席した者の氏名	石井幸子生涯学習部長、遠井久夫学校教育部長、野本朋子こども局長兼学校教育部理事、高貫貢生涯学習部副部長兼教育総務課長、鳥海生涯学習課長兼北川辺郷土資料館長、渡辺伸征文化・学習センター所長兼加須文化・学習センター館長、齋藤一実スポーツ振興課長兼加須市民体育館長、大原真理子図書館課長兼加須図書館長、清水博文学校教育課長兼指導主事、武井由加里学校給食課長兼加須学校給食センター所長、長沼理史こども局参事兼子育て支援課長兼学校教育部参事、関口久美子こども局こども保育課長兼学校教育部主席専門員、松本知之生涯学習課主幹、大舩隆弘学校教育課主幹兼指導主事、岡野信人学校教育課主幹兼指導主事、澁谷裕貴学校教育課主幹兼指導主事、岡田正道教育総務課主幹	
会期日程	第 1 第 2 第 3 第 4 第 5 第 6 第 7 第 8 第 9 第10 第11	会議時間の決定 会議録署名委員の指名 前回会議録等の承認 第20号議案 令和4年度加須市一般会計補正予算（第2号）のうち教育費について 第21号議案 加須市文化・学習センター運営委員会委員の委嘱について 第22号議案 加須市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について 第23号議案 加須市就学支援委員会委員の委嘱又は任命について 第24号議案 幼稚園評議員及び学校評議員の委嘱について 第25号議案 加須市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱又は任命について 協議事項 「加須市特別支援教育に関する推進計画」について その他
発言者	会議の概要	
小野田教育長	<p>ただいまから、令和4年第5回加須市教育委員会定例会を開会します。</p> <p>本日の議事日程につきましては、別紙のとおりでございますので、ご了承願います。</p>	

会議時間の短縮を図るため、事務局は各資料の説明について、簡潔明瞭に行ってください。

本日は傍聴希望者はありません。

【日程第1 会議時間の決定】

小野田教育長

日程第1 会議時間の決定についてでございますが、本日の日程がすべて終了するまでとすることよろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

それでは、会議時間は、本日の日程がすべて終了するまでといたします。

【日程第2 会議録署名委員の指名】

小野田教育長

日程第2 会議録署名委員の指名について、今回は福田委員にお願いいたします。

福田委員

はい。

【日程第3 前回会議録等の承認】

小野田教育長

令和4年第4回定例会の会議録については、事前にお配りしてございます。会議録の内容について何かご質疑、ご意見等ございますか。

小野田教育長

ご質疑、ご意見等ないようですので、令和4年第4回定例会の会議録については承認ということよろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

それでは、承認とします。

小野田教育長

日程第4 第20号議案「令和4年度加須市一般会計補正予算(第2号)のうち教育費について」から日程第9 第25号議案「加須市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱又は任命について」までは、加須市議会に議案として提案予定の案件及び人事案件並びに個人情報を含む案件であることから、加須市情報公開条例第7条第1項第2号及び第4号の非公開情報にあたります。

よって、日程第4から日程第9までは、加須市教育委員会会議規則第3条第5項に基づき、会議を非公開とすることよろしいですか。

(よろしい との声あり)

なお、日程第4 第20号議案は、加須市議会に議案として提案された日以後は、非公開とする必要はございませんので、会議録につきましては、当日は非公開で行ったことを付記した上で公開する、ということよろしいですか。

(よろしい との声あり)

小野田教育長

それでは、これより会議を非公開といたします。

※「日程第4 第20号議案」は、令和4年6月14日開会の令和4年第2回加須市議会定例会開会前であったことから非公開で実施。

【日程第4 第20号議案 令和4年度加須市一般会計補正予算（第2号）のうち教育費について】

小野田教育長

日程第4 第20号議案「令和4年度加須市一般会計補正予算（第2号）のうち教育費について」を議題といたします。事務局より説明させます。

高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長

令和4年度加須市一般会計補正予算（第2号）のうち教育費について、令和4年第2回定例会に議案を提出するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき審議願いたく、この案を提出するものです。
歳出として、9,190万6千円を計上してございます。

(以下、各担当から説明)

高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長

・小学校施設整備事業

清水学校教育課長兼指導主事

・学校ICT教育活用事業

渡辺文化・学習センター所長兼加須文化・学習センター館長

・文化・学習センター管理運営事業

武井学校給食課長兼加須学校給食センター所長

・給食センター管理運営事業

小野田教育長

以上説明がありました。これより審議を行います。
ご質疑、ご意見等ございますか。

遠藤委員

充電アダプタの貸与についてですが、ご家庭の電気を使うということで、保護者の理解が得られないようなことはないでしょうか。

また、普通教室の整備において、元和小学校だけ校内LANの予算がありませんが、元々特別支援教室であったため、整備の必要がないということでしょうか。

あと、学校給食センターの空調設備などの修繕について外気処理空調機が4台故障しているとのことでしたが、4台すべての修繕を行うということでしょうか。

清水学校教育課長兼指導主事

アダプタの持ち帰りですが、家庭の電源を使用するというので、家庭のご理解を得なければならないと思っています。

そういう意味で、ルールですとか、こういう背景で持ち帰りになりましたということについて、保護者に文書で通知を出す予定で考えております。

高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	<p>元和小学校につきましては、特別支援教室を普通教室にしますので、教室にはすでにLANの設備が整備されていることから、今回の整備の中には入っておりません。</p>
武井学校給食課長兼加須学校給食センター所長	<p>加須学校給食センターにつきましては、室内機が外気処理、内気処理含めて全部で90台あります。昨年の8月の点検で、90台のうちの4台が故障しているということでしたので、4台の修繕を行います。</p>
小野田教育長	<p>端末の充電については、原則、学校の充電器を使用しているため、家に持ち帰って、次の日持ってくるのであれば、家庭で充電しなくても済みますが、家庭で充電がなくなり、各家庭の充電器を使用し、万が一壊れたとき補償が効かなくなるため、各家庭で使用する純正のアダプタを整備するものです。</p> <p>夏休みなどの長期の場合は、家庭での充電をお願いする案内は必要かもしれませんが、基本的には毎日持ち帰らないため、緊急に充電しなければならなくなった時のために、補償のきく機器を子供たちの家庭に置いておくというイメージでございます。</p>
猪俣委員	<p>給食費においては、他のいろいろな自治体が、物価の高騰等で、給食費の値上げや自治体からの補助というニュースを聞く中で、このような地場産農産物の地産地消の工夫をするのは素晴らしいことだと思います。</p> <p>ただ、食材だけではなく、電気代やガス代も高騰していますが、そちらの予算措置は必要ないのでしょうか。</p> <p>また、インターネット環境整備について、他の文化学習センターのインターネット環境が整備されているのか、整備されていなければ、このネット環境整備の予算措置は、今後も、少しずつ地区を変えて、検討するのかを教えてください。</p>
武井学校給食課長兼加須学校給食センター所長	<p>光熱水費に関して、まず電気代ですが、複数年で契約しておりますので、今のところ、当初予算の範囲内で収まるのではないかと考えております。</p> <p>それから、重油などの燃料費ですが、予算執行が始まって2か月ですので、この後の価格変動により、12月補正などでお願いする可能性はあるかと思いますが、状況を確認して、必要なときには速やかに対応したいと思っております。</p>
渡辺文化・学習センター所長兼加須文化・学習センター館長	<p>インターネット環境につきましては、現在、利用される方が必要な機材等を持ち込み、設定しております。</p> <p>インターネット環境が整備されると、施設を利用する方がライブ配信等を望んだ場合に、利用者が機材等を持ち込むことなく環境整備ができるようになるのが、今回の補正となります。</p> <p>窓口の問い合わせで、そういう環境がございますかという質問も実際にありますので、小ホールに試験的に導入した中で、ほかの施設のご要望状況も踏まえて、検討してまいります。</p>
小野田教育長	<p>パストラルかぞのロビーなどのWi-Fiの整備状況や、ほかのセンターの状況はどのようになっていますか。</p>
渡辺文化・学習セン	<p>パストラルかぞのほか、騎西、北川辺、大利根に文化・学習センターがございま</p>

ター所長兼加須文化・学習センター館長

すが、ネット環境は、どこも整備されていない状況でございます。

石井生涯学習部長

何年か前に業務改善課で全体的な検討をし、試行的に導入したこともありますが、それほど需要がなかったことから、市の方針として、Wi-Fiは導入されていない状況です。

他の文化・学習センターもインターネット環境はありませんので、ご自分で持ち込む状況となっております。

目的のところの四角囲みで、簡単・安心・安定・安価ということで、整備することで変わることを書きましたが、市で一番稼働率が高いパストラルかぞの小ホールで導入し、稼働率が上がるようでしたら、拡大して参りたいと考えております。

秋山委員

去年、騎西学校給食センターの施設訪問をさせていただいたときに問題点を聞きました。騎西の学校給食センターでは、空調設備がほとんどない状況で働いていることや、食洗機あたりで雨漏りが発生しているため、なるべく早く修繕してもらいたいということ、冷蔵庫が倒れる可能性があるということをお話していただきました。ここにはありませんが、そういう修繕の予定がありましたら、お聞かせください。

武井学校給食課長兼加須学校給食センター所長

雨漏りににつきましては、職員で手を入れ、今は問題ないと所長に確認をしております。

食器等の消毒保管庫の架台が腐食していることにつきましては、根本的な修繕が必要であり、数千万円かかるため、優先順位として予算化は難しいととらえております。

それから、空調設備の関係につきましては、現在、騎西センターと北川辺センターは、全館的なものが入っておりませんので、スポットクーラーや扇風機で対応しているところでございます。昨年度、各センターにこういった対策が必要かを聞いた上で、必要なものは購入し、配置しているところです。

ただ、やはり根本的な解決には至っておりませんので、何か方法はないか、今後も検討したいとは思いますが、施設的に新たなものを設置するというのが難しいので、その辺はこちらとしても苦心しているところでございます。

小野田教育長

他にございますか。

小野田教育長

それでは、ご質疑、ご意見等ないようですので、採択に移ります。

お諮りします。

第20号議案「令和4年度加須市一般会計補正予算（第2号）のうち教育費について」は、原案のとおり可決ということでよろしいですか。

（異議なしとの声あり）

それでは、原案のとおり可決とします。

（全員賛成により原案可決）

【日程第5 第21号議案 加須市文化・学習センター運営委員会委員の委嘱について】

(全員賛成により原案可決)

【日程第6 第22号議案 加須市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について】

(全員賛成により原案可決)

【日程第7 第23号議案 加須市就学支援委員会委員の委嘱又は任命について】

(全員賛成により原案可決)

【日程第8 第24号議案 幼稚園評議員及び学校評議員の委嘱について】

(全員賛成により原案可決)

【日程第9 第25号議案 加須市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱又は任命について】

(全員賛成により原案可決)

小野田教育長

これより会議の非公開を解きます。

【日程第10 協議事項 「加須市特別支援教育に関する推進計画」について】

小野田教育長

日程第10 協議事項「加須市特別支援教育に関する推進計画」について、協議いたします。それでは、事務局から説明させます。

清水学校教育課長兼
指導主事

本来でしたら、令和3年度中に策定するものですが、少し遅れておりまして、今の提案となっております。

埼玉県内のすべての市町村で、こちらの特別教育に関する推進計画を作成するようというのがございました。

細かい点につきましては、担当から説明させていただきます。

岡野学校教育課主幹
兼指導主事

作成の経緯としましては、近年の障がい者に対する国の法制度が整いまして、障がいのある児童生徒とを取り巻く環境は大きく変化してきています。

そこで、加須市は加須市人づくりプランの施策の一つとして、特別支援教育の推進を定め、支援体制の充実を目指しているところです。

加須市教育委員会として、教育の目的を人づくりととらえ、すべての児童生徒が、共生社会の形成者として、社会参画をしていくために、本計画を策定し、今後の本市における特別支援教育の施策の方向性を定めていきたいと考えております。

(資料に基づき説明)

小野田教育長

加須市特別支援教育に関する推進計画が、この場に提出された背景を説明してください。

清水学校教育課長兼
指導主事

埼玉県では、全市町村にこの推進計画の策定を求めています。
埼玉県全体としましても、特別支援教育のニーズ、さらに特別支援学級に通うお子さん等が増えており、県の取り組みとしましても、このインクルーシブ教育というところが挙がっておりまして、特別支援教育に関する先生方の知識が増えて参りましたが、地域の中で、特別支援教育をもう一度考える必要性に迫られています。

令和7年までの策定計画になっており、令和7年までに、加須市としてどのように進めていくか具体的なものを示すというふうに考えております。

小野田教育長

令和7年っていうのは区切りでしょうか。

清水学校教育課長兼
指導主事

埼玉県で、令和4年から令和7年までの計画が策定されております。
それに合わせて、令和4年から4年間の計画ということです。

小野田教育長

埼玉県が、この特別支援に関する推進計画を策定して、市町村それぞれの計画も詳細に作るというようなことが、背景にあります

そこで、加須市も、現状を踏まえた上で、今年度も含めた4年計画で作る予定だということによろしいでしょうか。

清水学校教育課長兼
指導主事

はい。

小野田教育長

協議するにしても内容が濃いため、少しブロックで区切って、ご質問ご意見をいただき、そのあと全体を通してお聞きしたいと思います。

それでは、まず、1ページ2ページについてご意見ご質問あればお願いいたします。

福田教育長職務代理者

少子化で児童生徒数が、減少傾向にあります。それに比べて、全体の児童生徒数に占める特別支援学級に在籍する児童生徒数の割合の推移は上がっています。

児童生徒数が減っていて、特別支援学級に入る子がかなり多くなっている状況で、待たなしの状況かなと感じました。

それから、何年か前は特別支援学級に関して、保護者が理解できないというようなことがあったかと思いますが、最近では、保護者にも特別支援学級に関する理解が大きくなってきているのを感じます。

以前は、旧加須市内には数校しかなかったものが、現在、市内の小・中学校全校に、特別支援学級が配置されています。このようなこともあって、保護者から理解が得られてきているのではないかと感じております。

猪股委員

今回のこの計画案については、言いたいことがたくさんあります。今回のこの特別支援教育に関する推進計画というのは、特別支援学級に特化した方針であり、より多くの先生がその免許をとった方がいいということが後々述べられていま

す。
これは加須市に限らず他の市町村の推進計画もほとんどそういうくくりでやっていますが、グラフや数字の中に含まれない通常の学級において、非常に判断が難しい子たちがかなりの数いて、それが不登校だったり、学習不振だったり、そういうものに繋がっている現状を全く配慮していない、ラベリングされた子だけを対象にした計画というのが、そもそも納得がいかないと感じています。

小野田教育長

それでは次の、3ページから5ページで、ご意見ご質疑をお願いいたします。

福田教育長職務代理者

通常の学級における現状と課題についてお聞きします。

文部科学省で調査した結果、学習面または行動面で著しい困難を示す児童生徒の割合は6.5%であり40人学級の中に2人か3人いることとなります。この子供たち全員が特別支援学級などの措置を受けているわけではないため、そういう子供たちは、普通学級で授業を受けており、子供さんによって授業中に座ってられない、活動ができない状況があります。

学校も、保護者やいろいろな機関等と実際は動きますが、保護者の理解がなくて、そのままそのクラスで1年間を過ごすお子さんもいます。

そのお子さんが授業に参加できればいいのですが、発達障害で、授業中歩き回ったり、大きな声出したりする子供さんもいます。

そういう中で、加須市では介助員さんをお願いして、その子供たちを授業中見ていただく措置をとっていますが、その辺りについて、お聞かせください。

清水学校教育課長兼指導主事

確かにここには介助員さんのことは触れてはいませんが、市内の小学校22校には最低1人の介助員さんを配置させていただいております。

全体では60人程度という配置ですが、今回この全体の中で増えたのはその介助員さんに頼るのではなく、教職員の力をアップするということであげましたので出さなかったというところではあります。

小野田教育長

介助員の仕組みについては、加須市独自なものもあるので、ご意見を参考としてください。

遠藤委員

先ほどの2ページのところで特別支援教育への理解が進んだと書いてあり、3ページの課題のところに保護者の十分な理解が得られずとあり、特別支援学級を知ってはいるけれども、保護者としては十分理解が得られないので先生方はとても苦労しているということが伺えます。現状の中の7行目にこれまでの相談歴や検査結果云々って書いてあり、小さいころからの子供さんに対する情報が学校に行っていないというところで苦労しているのかなと思います。プライバシーもありますので、どこからどこまでを開示するかというのはあるかと思いますが、ますます小さい頃からの連携が、必要なのかなと思いました。

小野田教育長

乳幼児健診の頃から連携はしています。
特に就学時健診の時はどういう情報を集めるかを簡単に説明してください。

岡野学校教育課主幹兼指導主事

就学時健診が10月に行われますが、各小学校で就学時健診を行う際に、教育委員会としては、すすく子育てで得た情報を事前に把握させていただいて、担当指導主事が各校を回って、お子さんの様子の確認をしております。

	<p>その情報と、学校から得られた情報をもって、就学支援委員会にかけさせていただいて、審議をするということでやっております。</p>
小野田教育長	<p>保健センターとか、保育園、保育所、幼稚園を実際に回ったりしながら、子育て支援課も含めて連携しています。そのチャンネルが幅広くなればなるほどいいと思います。</p>
猪股委員	<p>5ページの、中学校特別支援学級に在籍する生徒の進路状況というところで、県立高等学校への進学率30%ということで、中学校としては、普通の県立高等学校への進学実績を進めているのかもしれませんが、その子の特性とか状況とか様々な要素を考慮して進学させたのはいいけれども、現状は県立高等学校の中に、特別支援学校に入れなくて県立高校に来たという子たちが集まっている学校も何校かあります。</p> <p>中学校でもその特別支援の子供たちへの進路指導について、市教委の管轄内である小中時代ということではなく、その子供たちのもっと先を考えた上での進路指導のあり方を、課題として検討した方がいいと思いました。</p> <p>あとは、障がいの表記で、固有名詞であれば漢字でいいですが、障がいのがいがひらがなになっていたり、漢字になっていたりしていますので、この表記の仕方は、思いをもって選んだ方がよいと思いました。</p>
小野田教育長	<p>言葉の使い方についてはもう一度見直すようにということで、もう一つ、最近の高等学校にある特別支援教育の変化について説明してもらえますか。</p>
岡野学校教育課主幹 兼指導主事	<p>県立の高校内に特別支援学校の分校が整備されて参りました。</p> <p>そこで、同じ高校内で、インクルーシブの教育ということで、日程条件が同じ、登校時間が同じ、そして教室が違うこそあれ、使っているトイレも、廊下もすべて同じ状況で、過ごすという取り組みをしております。</p> <p>ただその中身のところでは、就労に特化したものが、特別支援学校の分校の目標ですので、そこだけ違う場合があります。</p> <p>また、学校によっては、中の交流ということも始まっているというのを聞いております。</p> <p>これは最近の県立高校における特別支援教育ということです。</p>
猪股委員	<p>ありがとうございました。騎西の特別支援学校の分校が北本高校に設置されて、そういう形の取り組みがあるということですが、実際に他の地域でもそういう学校があるのは把握していますが、そうでない困難校も、非常にあるということです。</p>
小野田教育長	<p>県立学校について、そういうご意見があったということでお願いします。</p> <p>中学校で特別支援学級からの進学、基本的に就労はほとんどありません。</p> <p>実際問題として特別支援学級からの就労というのは、ほぼないとなると、特別支援学校または全日制、または通信制、定時制となりますが、実際の就学率はどれぐらいでしょうか。</p>
岡野学校教育課主幹 兼指導主事	<p>ほとんどの生徒が上位の学校に行っております。昨年度は、在家庭のお子さんが1名おりましたが、それ以外は、上の学校へ行っております。</p>

小野田教育長

就学支援委員会での判断の結果、本来は特別支援学校適という判断をされた子が、保護者の選択で、通常級にいた場合の在籍を確認しているのと同じように、その進学実績も把握していると思います。

ぜひそういうのも、定例会の報告に入れていただけると、委員さんが判断しやすくなるのかなと思います。

本来なら、この資料の、バックボーンになったデータも添付しておく、皆さんが協議しやすくなるかと思います。

バックデータをきちんとそろえて、出していないと、数年後に生かした計画にはならないと思いますのでよろしくお願いします。

小野田教育長

6ページ7ページで、何かご質問、ご意見あったらお願いします。

山本委員

発達障害、情緒障害で、その在籍する学校の特別支援学級ではなく、通級指導に変えるということは、どういう状況、どういう判断で、通級指導教室に行くのか、保護者の考えとか、そういうようなところも詳しくお話していただけたらと思います。

小野田教育長

特別支援学校、特別支援学級、通級等々、その基準及び現状どのぐらいの子たちが行ってるのか、いつ行くのかも含めて現状の説明をお願いします。

岡野学校教育課主幹
兼指導主事

就学支援委員会の判断として、特別支援学校に繋がる判断は、特別支援学校判断でございます。これは、市町村から県立学校への異動となりますので、一番上位の判断です。続いて、特別支援学級判断になります。その下に、通級指導教室という判断がございます。さらにその下に、通常学級で要観察という判断がございます。最後に、改善が見られたお子さんに対しては、通常学級判断というのがございます。以上の判断で、特別支援学校の判断が一番障がいの程度が重いお子さんということになります。

通級指導教室の自閉症情緒の通級指導教室についてですが、加須市の場合ですと特別支援学級に入るきっかけとして入るお子さんもございます。

保護者の、了解を得る1年間、通級指導教室で自立活動という指導を受けてみて、特別支援学級での指導を決めるという方もいらっしゃいます。

日常生活における学習上または生活上の困難を克服するための、通級指導教室ということで、運用しております。

その中に、就学支援委員会の判断では、特別支援学級の判断でも、通級指導教室に通うという例がございます。

この例につきましては、知的障害がないお子さんについては、情緒面の社会的スキルを身につけることによって、通常学級で、よりよい生活ができるだろうということで特別に認めているものです。

ですので、判断もございますが、子供の就学というところを考えると、柔軟に入級を決めているところではあります。

最後に入級の時期についてですが、特別支援学級は、年度ごとの変わり目で、入級をするのが基本でございます。

通級指導教室については、判断が出て、通級指導教室に空きが確認できれば、すぐに支援をするという形で進めております。

遠藤委員	<p>通級指導が週1回、小学校は90分、中学校50分と書いてありますが、年齢が低いほど集中する時間が短いと聞いているので、小学校の長い理由を教えてください。</p>
岡野学校教育課主幹 兼指導主事	<p>小学校の通級ですが、コミュニケーションの時間を多くとっている現状があります。</p> <p>移動を伴って他校に行って、最初にどうだったとかの質問をして、落ち着かせてから、通級しますので、できれば長くということから始まって、2単位時間を目標にやっております。</p>
小野田教育長	<p>実際に通級指導教室を見ると、小学生の方が、指導者とスキンシップやコミュニケーションを図る時間をとった後に、ソーシャルスキルの時間を組み入れないと、指導ばかりではということ、少し長目になっているということです。</p>
秋山委員	<p>先ほど施設訪問等で、この現状について見たらどうなかとのご意見もありましたが、この軽度の発達障害の子に対する接し方ですとか、先生方がその現場でどのようにしているのか、現場の先生方のご意見なんかも聞きたいなと思いました。</p>
小野田教育長	<p>担当の方で、具体的な計画に移して検討してみてください。</p>
小野田教育長	<p>それでは続いては、8ページについて、何かご意見、ご質問ありますか。</p>
猪股委員	<p>8ページの表で、これを単純に見ると、中学校の管理職0%、養護教諭も0%になっています。実情とすれば、管理職の研修やら、養護教諭の研修等で、特別支援については十分な研修は受けていると思います。</p> <p>教育委員会では出されるこの教育統計で、常々感じているのですが、数字だけで判断するのは、とても良くないなと。</p> <p>しかも、その免許の取得率が高いからといって、適切な、教育環境にあるかと言ったらそうではないので、実のある統計の出し方を工夫していただきたいと思いました。</p> <p>もう一つはその下の課題のところ、全教職員が特別支援教育を踏まえた指導力の向上を目指す、校内研修の充実が大きな課題とありますけれども、いじめの対応と同じような形でケース会議っていうのをやったりしているのか、現状を教えてくださいたいと思います。</p>
清水学校教育課長兼 指導主事	<p>ご指摘いただきました通り、免許を持っているからと言って、特別支援の指導ができるかっていうところは確かにあります。</p> <p>ただ数値を出すときに、私たちも悩み、なかなか他に数値に出すものがないため、この免許の取得というものを入れさせていただきました。</p>
小野田教育長	<p>免許がなくても、子供たちと、良好に接している教員もいますし、これは資格の問題で、客観的に統計上出すと資格があるかないかということになります。</p> <p>研修済み状況とか、そういうのも加味した方がいいのではないかというご意見でした。</p> <p>現状について担当からお願いします。</p>

岡野学校教育課主幹 兼指導主事	<p>校内の特別支援教育の体制ですが、特別支援教育コーディネーターという公務分掌がございます。</p> <p>この役職は、学級担任を含め、学級担任を特別支援教育の上では指導できる教員ということになっておりまして、子供の課題の発見の際には、相談に乗り、そして、ケース会議や支援会議という名前で会議を行っています。</p> <p>その会議をもとに、もう一度、児童を観察し、さらに必要な支援を決めていくといった、第2第3の会議を行った上で、さらに、就学先に向けて、就学校内相談委員会というのを設けまして、就学支援委員会にかける方向にもつなげております。</p> <p>組織の体制というのは、十分やっつけているところではございますが、まず第1の発見というところは担任が行う場合もありますので、そういうところで、すべての教員が特別支援教育の目で見えていくことが必要だと考えています。</p>
小野田教育長	<p>多くの学校では特別支援コーディネーターさんを中心に、あるいは、騎西特別支援学校や久喜特別支援学校のコーディネーターさんを招いたりしながら、ケース会議を頻繁にやられているということです。</p>
遠藤委員	<p>特別支援のを知る第一歩っていうことで免許取得をしたいと思います。この先生方がとても忙しいのに免許を取りに行くのにどのくらいの時間と、どのくらいの費用が必要なのかっていうのを知りたいです。10ページに免許取得のための補助金の検討というのもありましたので、その辺の事情を教えてください。</p>
岡野学校教育課主幹 兼指導主事	<p>特別支援教育において、県の施策として免許取得の認定講習がございます。この認定講習に、市からたくさんの教員が出せればと考えておりまして、こちらについての費用は無料となっています。ただ、テキスト代だけは自己負担でやっている場合もあり、講座によってはテキストがなく、ダウンロードだけのものもございます。</p> <p>また、仕事の一環として有給の状態取得ができます。</p>
小野田教育長	<p>今日で終わりではないので、ご指摘を受けたところは直し、あとはこの中に表われないバックデータがあるようでしたら、資料として付けてください。</p>
小野田教育長	<p>9ページから13ページまでで、本市における今後の取り組みということで何かございましたらお願いいたします。</p>
猪股委員	<p>取り組み方策が書いてありますが、この推進計画を策定するという事は、特別支援に特化した基本方針というか、いわゆる根拠となるものができるわけなので、これが通るといくらかの予算が措置されるのでしょうか。</p>
小野田教育長	<p>今年1年かけて、きちんと事業として計画しないといけないものは計画しないといけないので、これは絵に描いた餅にならないように、まず教育委員会できちんとみんなで、必要なものについては、事業化していくかどうかということを決めるための、部門計画だという認識でいます。</p> <p>これを実際に、どこを重点にして、どこに予算付けしていくかというのは、市全体の中で、政策決定してもらわないといけないので、教育委員さんたちにこの計画を認めていただいた次のステップとしては、さらに重点を絞って、事業計画</p>

としていくかという話になると思います。

猪股委員

計画案には、特別支援の子供たちのQOLを向上させるために、行政や学校がこれだけ頑張りますという視点がいっぱい入っています。私も実際に親子と接する機会がありまして、学校の先生だけ知識を身につけたところで、その親子の環境はあまり変わりません。

そのため、社会教育的な枠組みをもう少し入れるべきで、特別支援のお子さんを持っていない親御さんたちが特別支援の教育を理解してくれる場を提供する必要があると思います。

また、子供たちの間でも大学に来てから発達障害だったとわかり、もう少し早くわかっていれば、こんな生き苦しさを感ぜなくて済んだのだという子がたくさんいます。これは障がいのある子供たちだけの問題ではなくて、小学生、中学生、その他大勢のそうでない子供たちが、この特別支援にどれだけ理解や共感を持って、受けとめられるかというのが本当のインクルーシブです。子供たちは、大人が考えている以上に、そういった子供たちに本当に分け隔てなく、接することができます。

だから、子供たち自身がこの問題について、その他大勢の子供たちが学べる場とか教育のあり方というのがここには欠落していて学校の先生と行政が頑張れば良くなるというお役所的な計画案であると感じましたので、もう少し、本当の意味でのインクルーシブというのはどういうことかというのを、きちっと見直す必要があるかと思っています。

それから、特別支援の子たちにとってものすごく重要なこととして、健康管理や体力面の問題があります。自分でコントロールできない子供たちがたくさんいるので、特別支援学級に通っている子供たちが健康管理や、身体のケアをきちんとできるような環境、他の子供たちと同じぐらい運動の場や時間が確保されているかなど、そういうことも含めて、強化していただきたいと思っています。

それから、同じ病名の子でも、人によって全然違います。今まで施設訪問で、特別支援学級を何校か見させていただきましたが、先生方はいろいろな工夫をされて、頑張っているのは本当に理解できますが、特別支援の子供たちの学びの環境づくりという面では、もっとお金を割くべきであり、もう少しよくなるのではないかと感じています。

小野田教育長

全体を通して、何か委員の皆さんからございますか。
それでは、今日のご指摘の協議内容を受けて、もう一度精査してください。
今日の協議については、終わりとさせていただきます。

【日程第11 その他】

小野田教育長

日程第11 「その他」でございます。諸般の報告をさせます。
石井生涯学習部長より順次報告をいたします。

石井生涯学習部長

- ・マスクの着用について
- ・市長公約「スポーツの聖地化で交流人口をさらに増やす」について
- ・鴻荃小学校灯油流出事故について（最終報告）

遠井学校教育部長

- ・令和4年度の体育科授業等における水遊び及び水泳運動・水泳の指導について

野本こども局長兼学校教育部理事	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳指導の民間委託に伴うスウィン加須視察報告 ・長期欠席児童生徒の状況について ・加須市立小・中学校児童生徒の体力の状況
清水学校教育課長兼指導主事	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスについて
渡辺文化・学習センター所長兼加須文化・学習センター館長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度加須市ICT活用推進校の指定について
武井学校給食課長兼加須学校給食センター所長	<ul style="list-style-type: none"> ・彩の国だより広報誌掲載について(加須未来館)
長沼こども局参事兼子育て支援課長兼学校教育部参事	<ul style="list-style-type: none"> ・加須市立学校給食センターの再編について
高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の支給について ・子宮頸がん予防接種の積極的勧奨の再開及びキャッチアップ接種について
鳥海生涯学習課長兼北川辺郷土資料館長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 加須市教育委員教育関連施設等訪問実施要領
山本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所事業について
高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	<p>令和4年度のプールの利用について、4つのパターンで示していただきました。これは今年度のみの方策なのか、これから先の方向性にするのか、また、民間施設の活用を積極的に考えているのかということをお聞きしたいと思います。</p> <p>もう1点は、児童生徒の体力の状況について、細かいデータを示していただきました。落ちているという結果が出るのは当然だと思います。そういう中で、体力向上のための取り組みが3つ書いてありましたが、こういうような状況でも、各校で、現状に合わせた具体的な策というものを、各担当者を中心に出してもらった方が、より子供たちのためになるのかなと思いますのでその点を要望いたします。</p> <p>今年度、コロナ禍の収束によってプールを実施いたしますが、単独で自分のところのプールの利用と、あと共同利用、民間施設の利用ということで、そういう形をとりながら実施をしていきます。</p> <p>このやり方は、今年度限りではなく、今年度からということになります。</p> <p>施設の老朽化で整備に費用もかかることから、今後もさらに集約を図って、共同利用を増やす予定で考えています。</p> <p>実際に共同利用となりますと、共同利用校への移動ということもございますの</p>

で、民間バスを借り上げ、子供たちに負担がなく学校に迷惑がかからない考え方で進めていきたいと考えております。

小野田教育長

実際には、令和4年度から中学校のプールの利用なし、令和3年度から共同利用及び水泳クラブへの試行的移管という形で、去年からの計画で進めるはずが、コロナ禍の中、去年は全部プールなしとなりましたが、このようにできている計画を、進めていくこととなります。

山本委員

民間施設の活用というのは、子供たちにとっていいなと感じると思います。古いプールよりも、民間施設を使えていいなというのが、本音で聞こえてきそうな感じがしますが、今後どのように考えているのでしょうか。

高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長

実際の利用としては、初めてですので試行の部分があります。民間施設との関係もありますので、今年度の利用としてはかなり小さな学校が選択されているところもあります。ただ、今後の市施設、プールの維持管理というところもありますので、今後どうしていくかは、現在のところはまだ詰め切れておりませんが、検討課題だと認識しております。

小野田教育長

もう1点については、学校教育課への意見として、ご意見をいただいたということでお願ひします。

猪股委員

令和4年度加須市ICT活用推進校の指定について、お伺いしたいのですが、8校指定をされていますけれども、これは各校をどの教科で或いはどの特別活動で、このICTの活用を推進するかという、細かな指定もされているのでしょうか。

それから、先ほどの特別支援ところにも出ましたけれども、特別支援教育の中でICTの持つポテンシャルはとても高いので、この中に特別支援教育におけるICTの活用というのは含まれているのでしょうか。

清水学校教育課長兼指導主事

この8校の学校には、教科は指定をしておきませんので、各学校で、どのような活用ができるかということをお願いをしております。

確かに委員さんおっしゃるような特別支援的なものは、こちらからお願いしていませんが、そこは意識していると思いますので、報告の際に求めていこうと考えております。

小野田教育長

特別支援教育におけるタブレットの活用というのは、ものすごく価値があつて、日常的に使っています。

他校との交流やオンラインによる交流など、日常的に根付いているのは、特別支援教育です。

実際に使っている様子を見ていただければ一番いいのですが、渡邊前教育長さんが言ったタブレットを文房具のように使うということで、一番使っているのは特別支援学級の子です。

学校によって、教科に特化して入口にしようというところもありますが、加須市では9月に、一斉オンライン授業をしたことで、相当テクニカルなことが進みました。

後は、どこに成果が出ているのかをきちんと検証していくことが大切かと思
います。

小野田教育長

他にございますか。

小野田教育長

以上で、令和4年第5回定例会の議事日程は、終了といたします。
なお、次回、令和4年第6回定例会は6月27日(月)午後1時30分に開会し
ます。
これをもちまして、令和4年第5回加須市教育委員会定例会を閉会といたしま
す。

上記、会議の顛末を記載し相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和4年6月27日

教育長 小野田 誠

委員 福田 孝夫

書記 岡田 正道